

◎本会の動き◎

☆女性技術者ネットワーク 報告☆

2023年9月12日

9月12日、福岡大学での第54回秋季大会において、女性技術者・研究者・学生の交流を目的とした講演会「女性技術者ネットワーク」が開催されました。

招待講演では、はじめに九州工業大学の高瀬聡子先生から「女性研究者ネットワークと工学女子シンポジウム」と題してご講演いただきました。まず、電池材料の研究についてご紹介いただいたのち、これまで取り組まれてきた女性研究者活躍のための活動についてお話いただきました。女性研究者のネットワーク作りが重要ということで、九州から女性研究者のアクティブな活動を広げていくという意味を込めて、W³ダブルキュービック（West women wind, 西から吹く風）という女性研究者ネットワークを構築され、九州工業大学、九州大学をはじめとする複数の大学の理系学部、また高専に所属する女性研究者、女子学生、企業研究者を対象とした講演会を実施されてきたことをご紹介いただきました。ネットワークを通じて女性研究者が抱えている課題を共有し、解決方法を探りながら互いに成長し合うことの重要性について、また、ネットワークが研究面での融合も促進し研究の質や量を向上し得ることをお話いただきました。W³の活動は、地域の保護者の方も興味を持たれており、大学進学前の高校生の保護者を対象とした講演会やイベントについてもご紹介いただき、女性研究者ネットワークが次世代の女性研究者の育成にもつなげることができる大きな可能性を持っていることをお話いただきました。

次に、九州大学の山西陽子先生から「分野横断型研究のすすめ」と題してご講演いただきました。まずは先生の研究分野や経歴についてご説明があり、様々な技術分野と出会うことが新しい領域への挑戦や異分野融合領域への発想につながる例を、ご自身の体験を踏まえながら紹介されました。その中で、スペシャリストとしての専門の深い知識と同時にジェネラリストとしての幅広い知



現地講演会場の様子

識・俯瞰的視野を持つことの大切さを語られました。

その後、九州大学における男女共同参画の取り組みについてご説明されました。女子高校生を対象とした理系インターンシップ「QURIESプログラム」を2021年度から開始され、2023年度は福岡市及びその近隣の高校から24名の女子学生を大学に迎え5日間の日程で実施されたとのことでした。

続いて日本機械学会の男女共同参画の取り組み（LAJ委員会）についてご紹介がありました。企業及び大学からの女性委員14名と4名の男性会員からなる委員会は2004年に発足し、通算20回の出前授業や企業、学校や各支部との合同企画なども実施されています。また併せて2011年から始められた女性エンジニア交流会では、全国6か所で開催されており、キャリアミーティングとしては「メカジョ未来フォーラム」を主催し、企業と女子学生の接点の場も提供されています。

高瀬先生、山西先生のご講演に共通していたこととして、次世代の女性研究者、女性技術者を増やしていくには、早い段階で技術に触れる機会を増やすこと、またそれには親の世代へのアプローチをおこなうことが重要であると実感させられました。また交流会などは余り気負わず、気軽な集まりにすることが長続きの秘訣であるとのこと説明が印象的でした。

（吉本則子(山口大学)・三谷 誠(化学工学会)）



宮崎委員長によるご挨拶



講演者の高瀬先生



講演者の山西先生